

新病院に生まれ変わりました

放射線部



南海医療センター新病院棟建築に伴い、長い間検査のできない期間があり、皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。

この度完成いたしました当放射線部門（画像診断センター）では、一般撮影装置と透視撮影装置と心臓血管撮影装置を更新し、MRI装置の大幅なバージョンアップを行いました。

どの装置も、より早く正確に結果を得られるようになり、皆様の負担を少なくして、効率的に診断と治療を行うことができました。

さらに今回は装置の更新だけでなく、各部屋の配置を工夫しました。患者様の移動距離を短くし、室内の明るさや操作室の向きなども考えて、より安全に安楽に画像診断が行えるように設計しました。皆様にはこれまで以上に安心して検査を受けていただくと確信しております。

また最も大きな効果は、新しい画像診断センターを考えるうちに、自分自身の意識が高まったことです。以前にも増して、検査を受けられる患者様側に自分になった時、どのようであれば良いかをよく考えることができた事はかけがえのない経験となりました。

まだまだ未熟で未完成的な部分もございますが、この先もずっと皆様と一緒に画像診断センターを築いていきたいと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。

放射線部 診療放射線技師 金丸 高史

新病院棟完成！

地域医療を支え 健康と安心に貢献する新病院へ

新任医師紹介

放射線科 部長 亀井 律孝



2019年11月に南海医療センター放射線科に着任しました。

画像診断やカテーテルを使用した血管内治療を主として行っております。患者さんとは直接向かい合うことは少ないですが、当院で撮影されるCT、MRI、RIの画像は全て読影しており、画像を通じて県南の医療に貢献していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

なんかいプラス

medical care information

vol.10
2020.3

外来診療予定表

● 受付時間〈8:00～11:00〉まで（予約されている方は除く） 令和2年3月1日付

科名	担当	月	火	水	木	金
整形外科	新患	隈	宮崎	休診	隈	隈
	再来	隈	宮崎・隈	休診	隈	隈
泌尿器科	新患・再来	平田	菅	平田	平田	休診
		菅	渡辺	菅	渡辺	休診
心臓外科	新患・再来 (予約制)	岩田	休診 (手術日)	岩田	岩田 岩寺	休診
耳鼻科	新患・再来	馬淵	馬淵	馬淵	休診 (手術日)	馬淵
	アレルギー			(14:30)		
脳外科	新患・再来 (予約制)	森重	休診	休診	肥川 (第1) 久保 (第2) 森重 (第3・4・5)	休診
				大分大学		
皮膚科	新患・再来 (予約制)					
形成外科	新患・再来 (予約制)		大分大学			
放射線科	再来					松本

※医師の都合により変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

科名	担当	月	火	水	木	金
内 科	循環器	谷野	三好	山崎	三好	三好
		山崎	谷野			谷野
	消化器	和田	本田	和田	和田	本田
内 科	血液	卯野	卯野	春山	卯野	春山
	内分泌					野口
	呼吸器					橋本
	腎 臓			福田		工藤
	肝臓外来		寺尾 (14:00)			
	血液外来	大分大学		大分大学	大分大学 (13:00)	
	外 科	新患・再来	武内	藤井	休診	藤井
総合診療	新患・再来	秦	秦	秦	秦	秦

新築整備工事進捗状況

令和2年1月、ついに新病院が開院いたしました。

今後の工事予定は以下の通りです。

- ・生化学棟を解体し車路及び駐車場として利用。
- ・健康管理センター棟改修工事を行い、更衣室、倉庫、業者用控室、会議室として利用。
- ・旧病院を解体し駐車場として利用。
- ・立体駐車場を一部解体し前面道路を拡幅。(令和2年12月頃完成予定)



平成29年より建設中でありました“JCHO南海医療センター新病院棟”が完成し、令和元年12月3日に竣工式を執り行い、12月8日に新病院内覧会を開催し一般の方に公開いたしました。内覧会では、約1000人の方々の来院をいただき、当院に対する大きな期待を感じ、身の引き締まる思いであります。新病院は、(1)急性期医療を担う地域の中核病院、(2)がん医療・透析医療の中心的病院、(3)災害拠点病院という3つのコンセプトを掲げ建設いたしました。(1)に関しましては、心血管造影装置や手術室の充実を行い、急性心筋梗塞や緊急手術に対応できるよう整備しました。(2)に関しましては4K内視鏡手術システム導入や外来化学療法室の拡張を行いがん医療に対応できるように、また人工透析ベッド数を60床に増床し透析医療の充実を図りました。(3)に関しましては、免震構造の選択や2階以上への診療部門配置、ヘリポートの設置により対応できるようにしました。南部医療圏の中核病院として地域医療を支え、貢献していると考えておりますので今後ともよろしくお願い申し上げます。



南海医療センター
院長 森本章生



JCHO 南海医療センター
(ジェイコー)

〒876-0857 大分県佐伯市常盤西町7-8 <https://nankai.jcho.go.jp/>
TEL 0972-22-0547(代表) FAX 0972-23-4083

薬剤部



2020年1月より当院薬剤部も無事に移転が完了いたしました。

移転に伴いまして、今まで院内外来調剤対応させていただいておりました一部の皆様にはご不便をおかけいたしますが、医薬分業、また病棟への医薬品安定供給の観点から、原則院外調剤とさせていただいております。今後も最良の薬物療法が当院の外でも継続していきますよう、保険調剤薬局や他院薬剤師との連携を一層深めてまいります。

さて、近年の病院薬剤師業務は医師不足によるタスクシフティングニーズの増加により、一般調剤業務から高度な薬学管理を伴うチーム医療を中心とした臨床業務へシフトすることが求められています。移転後の調剤室は3階で、外来化学療法室の隣、医局、事務局、管理部門と同一フロアとなり、より緊密な連携をし易い環境となりました。

この機に高度な薬学的ニーズに対応すべく、当院薬剤部一同、一層の研鑽を重ね、臨床業務の充実を図っていく所存です。新病院でもどうかよろしくお願いたします。

薬剤部長 葉田 昌生

臨床検査部



南海医療センターは2020年1月に新病院として、新たな歴史の一步を踏み出すことが出来ました。これも県南地域の皆様方、支えて下さった大学の先生方、スタッフの皆様方のおかげだと感謝しております。本当に有難うございました。臨床検査部は検体検査(血液、尿)、心電図や超音波検査を中心に検査をしています。昨年までは、採血室とは別に検体検査室は別館に位置しており、検査時間の若干の遅れが生じておりました。しかし今回の新病院設立においては、病院内に検査室が出来たことで、検査時間の短縮が期待できます。超音波検査においては新型の心臓エコー、腹部エコー機器を更新し、更なる画像診断のアップグレードを目指しております。患者様の気づくところでは、採血室が広く、快適な空間に仕上げる事が出来ました。これからも皆様のニーズにお応えできるよう、より一層の努力とサービスの向上を目指して参りたいと思います。今後ともよろしくお願いたします。

臨床検査副技師長 梅田 祐次

JCHO 南海医療センター

新病院に生まれ変わりました



ピックアップマシン



無菌室



採血室 外観



採血室 内観

看護部



ラウンジ

2020年1月、JCHO南海医療センターは新病院での診療を開始しました。病院の使命であります1.急性期医療を担う中核病院、2.がん医療・透析医療の中心的病院、3.県南の災害拠点病院を3本の柱とし、患者さんとそのご家族の人権を尊重しながら、安全で心温まる看護の提供ができることを目標に、専門的な知識と技術で支援できる看護師の育成に努めています。高齢化社会、医療の高度化が進む中、市民の皆様が住み慣れたこの佐伯の地で、必要な医療・看護・介護が受けられるようチーム医療を推進し、常に患者さんに寄り添いその人らしい人生を支えていけるよう病院一丸となって努力してまいりますので、これからもご指導ご鞭撻の程何卒よろしくお願い申し上げます。

看護部長 告吉 ゆかり

リハビリテーション科は5階フロアの白坪側にあり、窓から明神様を望むことができます。照明が多く非常に明るい部屋となっています。専用のフロアは、広さ約371平方メートルの理学・作業療法室(心臓リハビリテーションエリアを含む)と、言語聴覚室2室、水治療室、装具採型室で構成されています。新しい練習機器として、ADLトレーニングユニット、電動昇降式ADLキッチン、開放型浴室セットなどを導入し、退院に向けたより実践的な練習が行えるように整備しました。スタッフは療法士20名、補助員2名の22名で運営しています。運動器疾患(骨折など)や心臓血管疾患(心筋梗塞など)、廃用症候群のリハビリテーションに加え、がん患者のリハビリテーションにも対応できるよう強化を図っています。今後も、患者様およびご家族様、医療・介護スタッフと共に、よりよいリハビリテーションが提供できるよう努力をしていきたいと思ひます。

リハビリテーション士長 西田 貞利

リハビリテーション科



理学・作業療法室



病室



ADLトレーニングユニット・キッチン



心臓リハビリテーション



言語聴覚室